

# せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.15

令和3年3月17日

mail tamaki@futtu.ed.jp


URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

## 学校関係者評価


コロナ禍のため、3学期の学校評議員会は中止となりましたが、「学校関係者評価」を学校評議員の皆様にご提出いただきました。評価結果を下記の通りお知らせします。

【自己評価】	(A) 十分到達できた	(B) ほぼ達成できた
	(C) あまり達成できていない	(D) 達成できていない
【学校関係者評価】	(A) 妥当である	(B) ほぼ妥当である (C) 妥当であるとは思わない

### 【1】学校経営

	評価項目	自己評価	職員自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	「よく学ぶ子」(めあてを持って、進んで取り組み学び合える・基礎基本や思考・判断・表現力を身につけ、意欲的に勉強できる・地域を愛し、地域について語ることができる)は、達成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の中で何を考えるのか、どのようなことができるようになれば良いのかを確認した上で授業を進めた。</li> <li>読む・書く・計算するといった学習の基礎基本について日々繰り返し取り組ませてきた。</li> </ul>	A	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇「がんばる子」の育成は、個の達成度を見る事が大部分なので、達成しやすいように思う。</li> <li>〇授業参観をさせていただき、一生懸命な様子が伺えた。</li> <li>〇学校だよりにより、活動状況を知ることができた。</li> <li>〇基礎的なことが繰り返しよく指導されていると思います。</li> <li>〇休み時間の校庭は元気な声でイッパイでした。</li> <li>〇学校だよりでは学校の取り組みがよくわかります。</li> <li>〇地域で子供が少なくなっており、学校で何をしているかわからない住民も多い。引き続き各種たよりに教育活動を発信していただきたい。</li> <li>〇あいさつを出来る子に育ててほしい。高学年になれば進んであいさつ出来る子は多いと思います。低学年はまだあいさつに対する意識付けが難しいと思いますが、引き続き取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul>
2	「やさしい子」(いつでもどこでも、進んで明るいあいさつ返事ができる・思いやりの心を持って、誰に対しても親切にできる・人と関わる力を持ち、感謝の気持ちを表せる)は、達成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>困っている友だちに手を差し伸べることができている。どんな人に対しても進んで手伝いをするように指導した。</li> <li>進んであいさつをする子はいるが、こちらからあいさつをしないとあいさつができない子が多いように思う。</li> </ul>		
3	「がんばる子」(友達に尽くすことができる・めあてを持って最後までやりぬくことができる・進んで運動に親しみ、身体をきたえることができる)は、達成されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業でも、上手くできなくても諦めずに練習することができている。</li> <li>マラソン大会など、目標を持たせながら指導することができた。</li> <li>休み時間は、いつも外で遊んでいる事が多いので、身体は鍛えられている。</li> </ul>		
4	各種たより(学校、学年、保健、ホームページ等)により、学校の教育活動を発信したか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜学年だよりを発行し、学習や学級の様子等を家庭に知らせることができた。</li> <li>学年だより以外のたよりについて各担当でしっかり発行されている。</li> </ul>		

### 【2】確かな学力向上

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	生徒指導の機能を生かした授業の工夫と、基礎基本の確実な定着が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習サポーターとの連携により、個別指導をより充実させることができた。</li> <li>コロナ禍で、ペアトークなどの話し合い(学びの場の工夫)をできなかった。</li> </ul>	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇コロナ禍の中、今までと同じ学習形態ができず、大変だったと感じる。特に地域学習はご苦労が多かっただろうと察する。</li> <li>〇授業の中で具体物を用いて指導している状況はわかりやすいと思った。</li> <li>〇少人数学級の利を活かした個々の指導、目が行き届いていたように感じた。</li> <li>〇読書は各取り組みのおかげで率が上がってきていると思います。</li> <li>〇各場での発表で表現力が得られていると思います。</li> <li>〇自己評価の内容が、実施した内容となっており、実施した結果の評価となっていない。</li> </ul>
2	読書活動の充実が図られたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での読書への取り組みや読書カードの活用を1学期よりも図れた。</li> <li>毎日絵本に触れる時間を作ることができた。図書委員会の取り組みにより、1年生では、休休みに本を借りる子が増えた。</li> </ul>		
3	自己表現の場の工夫により、自ら学び思考し、表現する力の育成が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童集会や家族参観の中で、学習の成果を発表することができた。</li> <li>集会での学年や委員会の発表等、自己表現の場は、様々な形で設けられている。</li> </ul>		
4	「地域を愛し、地域を語ることができる児童の育成」及び「地域教材の開発・地域講師の協力による学習活動の充実」が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生の興源寺の見学等、地域学習を推進することができた。</li> <li>コロナ禍のため、地域に出て学習することが難しかった。</li> </ul>		


### 【3】豊かな人間性の育成

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	児童の自己肯定感を高める（自信を高める）活動の充実が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者のために頑張るようにさせ、自己肯定感や自己有用感を高められるような活動を行ってきた。</li> <li>委員会活動に意欲的に取り組ませることができた。できたことに対して評価し褒めてきたので、自己肯定感を持たせることができた。</li> </ul>	A	<p>&lt;自己評価は妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇あいさつについて、PTA会長さんが「前はもっとよくしていた」と言っておられた。</li> <li>〇社会の情報が多様化し、氾濫している中で個々の活動、興味を持てることが助長され、子供が集中できることに進みやすくなっている。このようなことから、特別支援教室は必要な位置づけと感じた。</li> <li>〇いじめ等については、地域において話は聞こえてこなかった。</li> <li>〇いろいろな活動に対し、いろいろな形で評価してやることは次の目標設定に良いと思います。</li> <li>〇特別支援学級では、細やかな指導がなされていると思います。</li> <li>〇親からほめられるより、小学校等は、先生たちにほめられることの方が成長すると思います。他者からの評価が一番成長の糧になると思います。学校だけで成長させるのは難しいですが、家庭でもポジティブな心を持ってよう教育をしていきます。</li> </ul>
2	特別支援教育の視点を生かし、心の居場所となるような経営（学級・学校）に努めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の視点で、個別指導、特別支援学級への入級を複数の教員で対応できた。</li> <li>少人数のため一人一人に活躍の場や役割があり、一人一人に心の居場所がある。</li> </ul>		
3	豊かな人間関係づくりの推進として、明るいあいさつ・返事の指導を積極的に推進したか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期に比べ、自分から挨拶をする、元氣よく返事をするので児童が増えた。</li> <li>挨拶は多くの児童ができるが、場に応じた返事や返答はできない児童も多い。</li> </ul>		
4	児童理解促進のため、教育相談を定期的に実施し、全職員で現状把握ができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今学期は担任以外の職員による教育相談を実施することができた。それ以外にも、いじめにつながるような事案を複数の教員による教育相談等により解決に向けてすることができた。</li> </ul>		

### 【4】健康・体力づくり

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	体力・運動能力の向上を図ったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康マラソンを現状に即した形で実施することができた。子どもたちもそれぞれに目標を設定し、よくがんばっていた。</li> <li>少しずつ体育での取り組みもできることが増えているが、まだ100%ではないので、運動能力の向上に結びつきにくい。</li> </ul>	B	<p>&lt;自己評価は妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇防災意識の定着を図るための訓練は、多様な場面で行いたい。</li> <li>〇避難訓練を見学して、一斉活動の状況とすばやい動きや規律を守り指導が適切に行われていると思えた。</li> <li>〇東日本大震災後10年、学校は安全な場所を維持していただきたい。</li> <li>〇運動会等ではトータル運動量が大きいと思うので、成長が確認できたと思います。</li> <li>〇食育指導と健康管理指導、家庭でいかされると良いと思います。</li> <li>〇訓練が定期的に確実に実施され、迷うことなく行動できている様子がわかります。</li> <li>〇コロナ禍の中で、体力の低下は否めませんが、ぜひ身体を動かすことを進めていただければありがたいです。</li> </ul>
2	健康安全意識の向上に向けて指導の充実を図ったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭による食育指導や「完食デー」の取り組みを通して、食育を推進することができた。</li> <li>熱中症に注意しながら正課体育や健康管理等の指導を行った。体力の低下が見られる中、熱中症による事故が起らず良かった。</li> </ul>		
3	「自分の命を自分で守ることができる」を目指すべく、危険予知・危険回避能力を高め、防災意識の定着を図ったか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練・ワンポイント避難訓練を実施した。どの児童も「お・か・し・も」を守り避難することができた。</li> <li>このような状況でも、避難訓練は行うことができている。</li> </ul>		

### 【5】信頼・活力のある学校

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	学校とPTA・地域社会・保育所・中学校との連携による教育活動の推進を図ったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期にはできなかった資源回収を実施することができた。PTAや地域の方々の協力に感謝する。</li> <li>中学校区学校保健委員会を開催することができ、小中の様子を知ることができた。</li> </ul>	B	<p>&lt;自己評価は妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇資源回収が行われ、地域の方も準備してくれていた。「学校の事だから!」という声を今後も大事にしていきたい。</li> <li>〇自己評価の結果の内容は適切である。</li> <li>〇学校と地域を結びハイブ役は保護者の日常活動からの成果は大きい。</li> <li>〇コロナ禍の中でたくさんのことが中止になりましたが、先生方の協力で成し遂げることが出来ました。ありがとうございます。</li> </ul>
2	校務の効率化を図り、ゆとりを持って子どもに向き合える職場づくりに努めたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務の効率化の大切さを改めて感じた。少しずつ紙媒体ではなくコンピューターで校務ができる、提出できるような環境になるとよいと思った。</li> <li>事務処理の効率化を図るためには、各分掌・分担が機能しなければならないので、責任を持って取り組んでいきたい。</li> </ul>		
3	服務規律を遵守し、教育公務員としての信用の保持に努めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事を持ち帰らず、書庫金庫を整理し文書の保管場所を改善するなど個人情報の管理徹底ができた。</li> </ul>		